



よりよく、寄り添う 販売管理クラウド

# 自動処理活用 業務データの集計



株式会社ラクス「楽楽販売」担当  
サポート受付時間 平日9:30~18:00

Confidential

2025/01

「楽楽販売」で業務を集計する場合、下記の選択肢があります。

1. 「楽楽販売」の集計機能を利用する
2. 業務DBから実績集計DBにデータを連携する方法で集計する

本資料では、上記の「2」の方法について、ご案内します。

※「集計設定」の詳細につきましては、下記サクセスナビの該当記事をご参照くださいませ。

<https://success-navi.rakurakuhanbai.jp/faq/detail/2005>

下記のようなご要望がある場合、本資料でご案内する自動処理をご利用ください。

- 粗利率や原価率を表示したい場合
- 集計したい軸が4軸以上ある場合(例 年度別×月別×顧客別×商品分類別)

1. 業務DBから実績集計DBに  
データを連携する方法で集計する
2. (補足)  
実績集計DBから業務DBを  
検索する方法で集計する

1. 業務DBから実績集計DBに  
データを連携する方法で集計する
2. (補足)  
実績集計DBから業務DBを  
検索する方法で集計する

業務DBから自動処理を実行する方法で、売上金額や発注金額を算出することが可能です。

A-DBでは複数レコードで管理されている情報を自動処理を利用して、B-DBで集計する方法を紹介します。

**A-DB**

受注No	顧客名	案件名	受注月	売上金額	発注金額
0001	A社	案件W	2022年3月	400,000	200,000
0002	B社	案件X	2022年3月	500,000	250,000
0003	A社	案件Y	2022年4月	600,000	260,000
0004	B社	案件Z	2022年4月	700,000	520,000

(1) 同一受注月の売上金額、発注金額が複数作成されている

**B-DB**

集計No	集計対象月	売上金額合計	発注金額合計	粗利率
0001	2022年3月	900,000	450,000	50%
0002	2022年4月	1,300,000	770,000	40%

(2) A-DBからB-DBにデータ連携する自動処理を実行する

(3) 同一受注月の売上金額、発注金額の合計と粗利率を表示する

# 具体例



業務DBから自動処理を実行する方法で、売上金額や発注金額を算出することが可能です。

A-DBでは複数レコードで管理されている情報を自動処理を利用して、B-DBで集計する方法を紹介します。

受注DBから実績集計DBにデータ連携するための自動処理については、次頁から紹介します。

A-DB

受注No	顧客名	案件名	受注月	売上金額	発注金額
0001	A社	案件W	2022年3月	400,000	200,000
0002	B社	案件X	2022年3月	500,000	250,000
0003	A社	案件Y	2022年4月	600,000	260,000
0004	B社	案件Z	2022年4月	700,000	520,000

B-DB

集計No	集計対象月	売上金額合計	発注金額合計	粗利率
0001	2022年3月	900,000	450,000	50%
0002	2022年4月	1,300,000	770,000	40%

2022年3月の売上金額合計、発注金額合計を集計し、粗利率を算出できる

2022年4月の売上金額合計、発注金額合計を集計し、粗利率を算出できる

# 自動処理の全体図



## 自動処理の全体図



## 各自動処理パートの役割

### 1. 実績集計DBを検索(レコード検索パート)

受注DBの受注月が「2022年3月」の場合、実績集計DBの「集計対象月」に「2022年3月」と登録されたレコードが存在するかを確認します。

### 2. レコード作成(レコード登録パート)

1. の結果、一致する集計対象月が存在しない場合、自動処理を実行する受注DBのレコード内容を元にレコードを作成します。

### 3. レコード更新(レコード更新パート)

1. の結果、一致する集計対象月が存在する場合、自動処理を実行する受注DBのレコード内容をもとに既に作成されているレコード内容を更新します。

# 設定STEP(1/3)



レコード検索パートでは、レコードをまとめる条件で実施し、まとめ先となるレコードがあるかを確認します。

## レコード検索パートが実施していること

### ・検索内容

受注DBの「受注月」と実績集計DBの「集計対象月」が一致するレコードが実績集計DBに存在するかを検索します。

### ・受注月が「2022年3月」を検索する場合

実績集計DBのデータ内容が下記である場合、受注月が「2022年3月」のレコードが存在しないため、検索結果は「No」(まとめ先のレコードが存在しない)となります。

## 実績集計DB データ内容例

集計対象月	売上金額合計	発注金額合計	粗利率
2021年12月	1,000,000	800,000	20%
2022年1月	800,000	600,000	25%
2022年2月	1,100,000	750,000	32%

## 設定内容

検索内容を実現するための設定内容は以下です。

AND条件 (すべての条件に当てはまる) OR条件 (いずれかの条件に当てはまる)

条件	<input type="radio"/> 集計対象月 <input type="radio"/> : 受注月	が	【選択レコード】 [ 受注DB ]	と等しい
	+ 追加			

実績集計DBにある「集計対象月」の項目の値が  
自動処理を実行する受注DBのレコードの  
「受注月」の値と等しい

# 設定STEP(2／3)



レコード登録パートでは、実績集計DBに新しいレコードを作成します。

## レコード登録パートが実施していること

実績集計DBに新しい「集計対象月」のレコードを作成します。

今回の場合、集計対象月が「2022年3月」となるレコードを実績集計DBに作成します。

## 実績集計DB データ内容例

集計対象月	売上金額合計	発注金額合計	粗利率
2021年12月	1,000,000	800,000	20%
2022年1月	800,000	600,000	25%
2022年2月	1,100,000	750,000	32%
2022年3月	4,000,000	200,000	50%

設定STEP(1／3)では作成されていなかった  
「集計対象月:2022年3月」のレコードを作成します

## 設定内容

レコード登録パートでは、受注DBに登録されている内容のうち、必要な項目を実績集計DBに登録します。

ヘッダ項目	
集計ID *	<input checked="" type="checkbox"/> 連番部分は自動的に採番する 自動で値が入ります 【選択レコード】 [ 受注DB ] ▾
集計対象月 <input type="checkbox"/> 計算	【選択レコード】 [ 受注DB ] ▾ : 受注月 選択
売上金額合計 <input type="checkbox"/> 計算	【選択レコード】 [ 受注DB ] ▾ : 売上金額 選択
発注金額合計 <input type="checkbox"/> 計算	【選択レコード】 [ 受注DB ] ▾ : 発注金額 選択

今回の場合、「集計対象月」「売上金額合計」や「発注金額合計」に受注DBの該当項目の値を登録します

# 設定STEP(3／3)



レコード更新パートでは、受注月と集計対象月が一致するレコードが存在する場合、  
売上金額合計と発注金額合計の金額を更新します。

## レコード更新パートが実施していること

実績集計DBに受注月と集計対象月が一致するレコードが存在するため、  
「2022年3月」の「売上金額合計」「発注金額合計」の金額を更新します。

## 実績集計DB レコード更新パート実施後のデータ内容

集計対象月	売上金額合計	発注金額合計	粗利率
2021年12月	1,000,000	800,000	20%
2022年1月	800,000	600,000	25%
2022年2月	1,100,000	750,000	32%
2022年3月	4,000,000	200,000	50%

設定STEP(2／3)で新規作成したレコードの  
金額情報を更新します

## 設定内容

レコード更新パートでは、受注DBに登録されている内容のうち、  
必要な項目を実績集計DBに反映します。

ヘッタ項目	
集計ID*	元の値
集計対象月 <input type="checkbox"/> 計算	(元の値) 【選択レコード】[ 受注DB ] : 売上金額 選択
売上金額合計 <input checked="" type="checkbox"/> 計算	(元の値) + 【選択レコード】[ 受注DB ] : 売上金額 選択
発注金額合計 <input checked="" type="checkbox"/> 計算	(元の値) + 【選択レコード】[ 受注DB ] : 発注金額 選択

今回の場合、「(元の値)」に対して、  
受注DBの該当項目の金額を加算します

1. 業務DBから実績集計DBに  
データを連携する方法で集計する
2. (補足)  
実績集計DBから業務DBを  
検索する方法で集計する

# (補足)はじめに



実績集計DBから自動処理を実行する方法で、売上金額や発注金額を算出することも可能です。

A-DBで作成した集計単位を元にB-DBを検索し、A-DBに集計結果を反映する方法をご紹介します。

A-DB

集計No	集計対象月	売上合計金額	発注金額合計	粗利率
0001	2022年3月			

(1)集計条件となるレコードを作成する

B-DB

受注No	顧客名	案件名	受注月	売上金額	発注金額
0001	A社	案件W	2022年3月	600,000	300,000
0002	B社	案件X	2022年3月	700,000	350,000

(2) A-DBからB-DBに作成されている  
対象のデータを検索する

A-DB(更新後)

集計No	集計対象月	売上合計金額	発注金額合計	粗利率
0001	2022年3月	1,300,000	650,000	50%

(3)検索結果を受注月の売上金額合計と  
発注金額合計に反映し、粗利率を算出する

# (補足)具体例

## 各DBの前提

### ■受注DB

- 顧客ごと案件ごとの売上金額と発注金額のデータを作成する。

### ■実績集計DB

- 受注月ごとの売上金額合計、発注金額合計、粗利率を参照したい。

## 実施できること

実績集計DBでは、作成したい粒度で金額集計でき、粗利率算出も可能です。実績集計DBから受注DBを検索したうえでデータを更新する自動処理は、次頁から紹介します。

実績集計DB				
集計No	集計対象月	売上合計金額	発注金額合計	粗利率
0001	2022年3月			

受注月が「2022年3月」の売上金額合計、  
発注金額合計を集計したい

受注DB					
受注No	顧客名	案件名	受注月	売上金額	発注金額
0001	A社	案件W	2022年3月	600,000	300,000
0002	B社	案件X	2022年3月	700,000	350,000

実績集計DB(更新後)				
集計No	集計対象月	売上合計金額	発注金額合計	粗利率
0001	2022年3月	1,300,000	650,000	50%

受注DBを検索して取得した売上金額合計、  
発注金額合計を集計し、粗利率を算出できる

# (補足)自動処理の全体図



実績集計DBから受注DBを検索したうえで、検索結果を実績集計DBにデータを反映するに必要な自動処理の全体図は下記です。  
2種類の自動処理パートを利用して、前頁で紹介したことが実現できます。

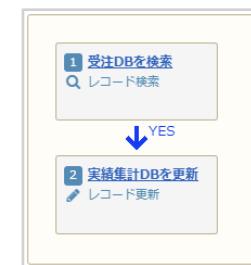
## 自動処理を実行するための前提条件

実績集計DBの「集計対象月」と受注DBの「受注月」が一致するレコードが受注DBに存在するため、「2022年3月」の「売上金額合計」「発注金額合計」の金額を更新します。

集計対象月	売上金額合計	発注金額合計	粗利率
2022年3月			

## 各自動処理パートの役割

レコード更新パートでは、受注DBに登録されている内容のうち、必要な項目を実績集計DBに反映します。



### 1. 受注DBを検索(レコード検索パート)

実績集計DBの「集計対象月」が「2022年3月」の場合、受注DBの「受注月」に「2022年3月」と登録されたレコードが存在するかを確認します。  
※1度の検索で取得できる上限レコード数は、スタンダードプラン、プロプランとともに「5,000件」が上限です。超過しないような検索条件の設定をお願いします。

### 2. レコード更新(レコード更新パート)

1の結果、一致する受注月が存在する場合、実績集計DBに検索結果をレコードに更新します。

# (補足)設定STEP(1／2)



レコード検索パートでは、集計対象月と受注月が一致するレコードがあるかを検索します。

## レコード検索パートが実施していること

### ・検索内容

実績集計DBの「集計対象月」と受注DBの「受注月」が一致するレコードが受注DBに存在するかを検索します。

### ・受注月が「2022年3月」を検索する場合

受注DBのデータ内容が下記である場合、

受注月が「2022年3月」のレコードが2件存在するため、「Yes」となります。

## 受注DB データ内容例

顧客名	受注月	売上金額	発注金額
A社	2022年3月	400,000	200,000
B社	2022年3月	500,000	250,000
A社	2022年4月	600,000	260,000

## 設定内容

検索内容を実現するための設定内容は以下です。

The screenshot shows the search settings interface with several key components highlighted:

- 対象レコード (Target Record):** A table with three rows for "検索結果の並び順: 1", "2", and "3". Each row has dropdown menus for "受注ID" and "昇順". A callout notes that the "1件まで絞り込む" (Limit to 1) checkbox should be unchecked.
- 1件まで絞込み (Limit to 1):** A checkbox with a yellow border and a callout explaining it limits the result to the first matching record if multiple exist.
- 条件 (Conditions):** A section with a radio button for "AND条件 (すべての条件に当てはまる)" (AND condition - all conditions must apply). Below it is a complex query builder:
  - 【選択レコード】 [実績集計DB] (Selected Record [Performance DB])
  - 受注月 (Billing Month) が (is) : 集計対象月 (Collection Target Month) 選択 (Selected)
  - と等しい (Equal to)A yellow box surrounds this entire condition setup.
- 明細条件 (Detail Conditions):** A section with a radio button for "明細行のいずれかが一致" (Any detail line item matches).

検索条件に合う情報を取得します

# (補足)設定STEP(2／2)

レコード更新パートでは、受注月と集計対象月が一致するレコードが存在する場合、  
売上金額合計と発注金額合計の金額を更新します。

## レコード更新パートが実施していること

受注DBに集計対象月と受注月が一致するレコードが存在するため、  
「2022年3月」の「売上金額合計」「発注金額合計」の金額を更新します。

### 実績集計DB 自動処理実行前のデータ内容

集計対象月	売上金額合計	発注金額合計	粗利率
2022年3月			

### 実績集計DB 自動処理実行後のデータ内容

集計対象月	売上金額合計	発注金額合計	粗利率
2022年3月	9,000,000	450,000	50%

設定STEP(1／2)のレコード検索パートで  
取得した金額情報を更新します

## 設定内容

レコード更新パートでは、受注DBに登録されている内容をもとに、  
必要な項目を実績集計DBに更新します。

処理タイプ	レコード更新
対象レコード	【選択レコード】 [ 実績集計DB ] (レコード単位)
ヘッタ項目	
集計ID*	元の値
集計対象月 <input type="checkbox"/> 計算	(元の値)
売上金額合計 <input type="checkbox"/> 計算	【検索レコード (受注DBを検索)】 [ 受注DB ] : 売上金額の合計 選択
発注金額合計 <input type="checkbox"/> 計算	【検索レコード (受注DBを検索)】 [ 受注DB ] : 発注金額の合計 選択

設定STEP(1／2)のレコード検索パートで  
取得した「売上金額の合計」  
「発注金額の合計」を該当項目に反映します